

2025 年度地元産業界等と地域の課題解決に向けた連携事業

1. 取り組み体制

事業名：若い世代からのジェンダー平等推進事業

担当教員：聖泉大学人間学部 准教授 富川拓

連携団体：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが、滋賀県庁

取り組み体制：教員 1 名（富川）、聖泉大学人間学部学生 9 名

2. 目的

ジェンダー平等の実現に向けた取り組みは、全国各地の自治体で「男女共同参画政策」として多様な展開を見せている。各自治体の男女共同参画政策の課題はその地域特性によって異なるが、共通の課題の一つとして、各種取り組みへの「若者の参画促進」がある。ジェンダー平等社会の実現に向けては、次世代を担う若者がジェンダー平等の問題を自分自身の問題として捉え、当事者の一人として取り組みに参画することが非常に重要となるが、多くの自治体では未だ不十分な状況にある。本連携事業の目的は、学生を中心とした若者が、身近なジェンダーの問題について学び、身近な地域のジェンダー課題の解決案を検討する「ジェンダー平等ミーティング」を実施することにより、若者の参画を促進することを目的とした。富川准教授が本連携事業のアドバイザー等を担当した。

3. 取り組みの概要、スケジュール

・ジェンダー平等ミーティング 2025 年 5 月 17 日～12 月 11 日 全 9 回

第 1 回 5 月 17 日 テーマの検討等 ※富川准教授が講師も担当

第 2 回 7 月 19 日 テーマ「包括的性教育」※富川准教授と学生が講師も担当

第 3 回 7 月 29 日 テーマ「学校とジェンダー」

第 4 回 9 月 20 日 テーマ「防災とジェンダー」

第 5 回 10 月 11 日 テーマ「性の多様性」

第 6 回 10 月 23 日 テーマ「“働く”とジェンダー」

第 7 回 11 月 1 日 「G-NET しがフェスタ 2025」での活動報告の準備、県知事との意見交換会の準備 ※富川准教授が講師も担当

第 8 回 11 月 30 日 「G-NET しがフェスタ 2025」での活動報告 ※富川准教授が司会も担当

第 9 回 12 月 11 日 県知事との意見交換会 ※富川准教授が司会も担当